

赤松街道

- 所在地／亀田郡七飯町字鳴川町付近
- 規模／幅 0.004km、長さ 14.3km、面積 5.7ha、樹齢 100～130 年
- 指定／環境緑地保護区
- 問合せ／七飯町企経済部商工観光課観光係 電話 0138-65-2517

北海道



立地環境

国道 5 号線沿い函館市桔梗町から七飯町字峠下までの間 14.3km に約 1,400 本のアカマツが立ち並びます。

松原の
今昔物語

歴史豊かな潤いのある道 赤松街道

今から約 150 年前 (1857 年) に、当時の箱館奉行支配頭である栗本瀬兵衛が、故郷佐渡から取り寄せたアカマツの種子を七重官園で育成し、育った苗木を 1862 年に道路沿いの一部に植栽したのがはじまりとされています。

また、『北海道開拓使日誌』によると、「1872 年 3 月、開拓使顧問ワークフィールドが来函し、函館～札幌間に新道の開削工事が始まる」とあり、このころに本格的な赤松並木づくりが行われました。その後、1876 年に明治天皇が七重勸業試験場に行幸されたとき、これを記念して現在の国道 5 号線沿いに相当数が再植され現在に至り、昭和 61 年には「日本の道 100 選」にも選出されました。



COLUMN

赤松街道では農薬を使わずに「こも巻き」で害虫を退治しています。この「こも巻き」とは冬を越すため松の枝葉から少しでも暖かいところへ行こうとする害虫の習性を利用した害虫駆除方法で、冬になる前に樹木に「こも(むしろ)」を巻きつけ、暖かい「こも」の中に集まってきた害虫を、春に「こも」ごと取り外して焼却します。毎年 10 月にはボランティア団体「赤松街道を愛する会」が主催する「こも巻き」体験会が開催されます。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR 函館本線七飯駅下車徒歩 20 分
バスの場合：函館駅より函館バス 30 分「桜岡」下車

●車の場合

国道 5 号線を函館駅前から七飯方面へ 15km、七飯町字鳴川町付近。

駐車場無し

